

# 記録書 No.3

(2018/04/24 ~ 2018/05/14)

2018/5/14

吉田 修太郎

## 1 前回ミーティングからの指導・指摘事項

- (1) 資料では，指示代名詞を避ける．(4/23, 第 10 講義室，谷口先生)
- (2) 資料では，初出の用語について説明する．(4/23, 第 10 講義室，谷口先生)
- (3) 資料では，図や表を用いて説明する．(4/27, 102 号室，谷口先生，乃村先生)

## 2 実績

### 2.1 研究関連

- (1) 2018 年度 B4 新人研修課題に関する項目
  - (A) Debian のインストール (100% +100%)
  - (B) Linux カーネルの再構築 (100% +100%)
  - (C) システムコールの実装 (100% +100%)
  - (D) システムコール実装の手順書作成 (100% +20%)
  - (E) Ruby による SlackBot プログラムの作成 (100% +85%)
  - (F) Ruby による SlackBot プログラムの報告書作成 (100% +100%)
- (2) 2018 年度 B4 新人研修課題に関する項目
  - (A) Mint のインストール (50% +50%)

### 2.2 研究室関連

- (1) (4/26) 株式会社クレオファーガ 訪問
- (2) (4/27) 第 351 回 New 打ち合わせ
- (3) (5/11) GitHub Patchwork Okayama -2018
- (4) (5/14) 乃村研ミーティング

### 2.3 大学関連

- (1) (4/23, 24, 5/1, 7, 14) 非手続き型言語

### 3 詳細および反省・感想

#### 3.1 研究関連

- (1.F) Ruby による SlackBot プログラムの報告書を作成した。以前，初出の用語について説明することと，説明に図を用いることをご指導頂いていたため，報告書の作成に際してはこの 2 点について注意した。

#### 3.2 研究室関連

- (5)

#### 3.3 大学関連

特になし。

### 4 今後の予定

#### 4.1 研究関連

- (1) (5/17) 第 352 回 New 打ち合わせ

#### 4.2 研究室関連

#### 4.3 大学関連

- (1) (5/15, 21, 22, 28, 29) 非手続き型言語